

2006年度 法政海外フィールド・スタディ 募集概要

法政海外フィールドスタディは、法学部で2004年度に法学と政治学の専門的学習内容を取り入れながら効果的な英語学習ができることを目的に、アメリカのジョージタウン大学（ワシントンD.C.）において3週間の短期海外スタディプログラムとして開設されました。このプログラムは、ジョージタウン大学言語教育開発センター（CLEO）との協定に基づいて、大学での英語学習やフィールドワークからなる2単位の単位認定を伴う短期海外留学プログラムです。2005年度までの2年間は法学部独自の海外研修プログラムとして実施してきましたが、2006年度より英語の知識・運用能力を更に高め、法学・政治学の専門についての情報を英語で収集・発信できる力をつけていくプログラムとして全学に開放されました。

1. プログラムの目的

1・2回生時の必修英語の履修を通じて学んできた総合的英語運用能力を基礎に法学や政治学についての関心をさらに発展的に学ぶ短期集中プログラムとして、専門領域でも役立つ英語運用能力を向上させる。また、現代アメリカ合衆国の社会と法政制度の基礎についての理解を深め、連邦および州の政府機関や非政府組織（NGO）でのフィールド学習を行う。

2. 科目名 各学部によって異なりますので所属学部で確認してください。

3. 単位数 2単位

2006年度後期科目として2単位を帰国後に認定します。その具体的な認定分野は各学部によって異なりますので、詳細については各学部事務室に確認してください。

なお、国際インスティテュート所属学生は、希望すれば国際インスティテュート専門科目「海外スタディ」として認定されます。

4. 実施時期 2月～3月の3週間＜2007年2月12日（月）～3月2日（金）＞

*出発日は、2007年2月9日もしくは10日の予定（追試終了後）

5. 受講対象 全学部2回生以上および法学研究科大学院生

6. 受講定員 20名程度

*ただし、応募者多数の場合、選考をしたうえで、クラスを増やす可能性もあります。

*政治情勢等の急変の場合は、定員に達している場合でも中止をする場合があります。

7. 受講資格

原則として、TOEFL-ITP 450点以上。

*プログラムへの参加の最終可否については、参加申込書等により決定します。

8. プログラム概要

現在調整中ですが、9月下旬の最終参加希望者ガイダンスで発表の予定です。

9. 宿泊

ホームステイを基本とします。

* 空きがあれば、ジョージタウン大学の学生寮（１部屋２人が基本）にも滞在できます。

10. 参加費用

授業料	約210,600円
受講申し込み料	約6,250円
ラボ利用料	約5,000円
宿泊費・食費等	約150,000円
渡航費を除く合計費用	約371,850円
渡航費を含む費用	約450,000円

授業料には行事費、テキスト・教材費を含みます。

この他、参加費用として海外保険料、ビザ・SEVIS申請料、予防接種料（合わせて約４万円）が必要です。

立命館大学「海外スタディ等奨学金」として選定されれば、参加費用の１８％（参加費用が45万円の場合、約８万円）の奨学金が給付される見込みです。

11. その他

学生（F-1）ビザ取得が必要となります。

* 学生（F-1）ビザは正式な参加が確定次第、各自で取得していただきます。詳細は、出発前ガイダンスで説明します。

ワントンDCの規則により、下記の予防接種を実施済みである証明が必要です。

* 予防接種は、大学の保健センターで接種できるようご連絡します（有料）。

* 必要接種・・・小児まひ、ジフテリア、はしか・おたふく風邪・風疹（３種混合）、B型肝炎、水ぼうそう（既に接種が終っているものについては、母子手帳等で確認します。）

12. 申し込み手続き等（スケジュール）

4月～6月 参加希望者ガイダンス

* ガイダンスは6月までの間、１回／月 開催します

* 参加申込書は6月の最終ガイダンスで配布します

7月2日（月）～13日（金）募集期間

7月31日（火） 結果発表（夏期課題の配布）

10月～ 出発前ガイダンス（ビザ申請、予防接種含む） 事前学習会 開始

* 出発前ガイダンスは、３～４回程度実施します。

* 事前学習会は、４～５回程度実施します。

2月 出発

3月 帰国後レポート

以上